



きとう俊郎 県政レポート

連絡先

〒491-0033 一宮市別明町 1-2-2-201

Tel 0586-24-8970

県有林でナラ枯れの被害調査



広がるナラ枯れ被害を調査

近年、ナラ類が集団で枯死する被害(ナラ枯れ)が各地で発生しています。愛知県でも2006年に名古屋市などでナラ枯れの木が確認されて以来、被害は年々拡大し、尾張、西三河両地域にまで広がっています。こうした中、公明党では私と、桂俊弘県議、金庭宜雄・名古屋市議は8月18日、県有林を擁する「愛知県森林公園」を訪ね、ナラ枯れの現状を調査しました。同公園は、名古屋市守山区と尾張旭市の丘陵地に広がり、自然環境を生かした県民の総合レクリエーションの場として利用されています。今回の調査は、公園付近に住む公明党員の前島栄次さんから金庭市議に「木が立ち枯れしている」との情報が寄せられ、事態を重視した私どもは連携し緊急調査したものです。まず、県有林事務所、県林務課、県森林保全課の関係者から説明を受けました。それによると、ナラ枯れの原因は、カシノナガキクイムシ(体長4~5ミリ)が木の体内に運び込む菌が繁殖して、水の吸い上げを阻害することによるもの。防除するためには、被害の木を切り倒し、虫の侵入部分を焼却。あるいは切り倒した木をビニールで覆い、薬剤処理などを行わなければならないということです。この後、前島さんから指摘された現場に足を運び、ナラ枯れで赤褐色に変色したコナラの木を観察しました。今後は、ナラ枯れは国を挙げて取り組まなければならない課題だと痛感しました。抜本的な防除対策へ向けて国会議員と連携していく事が必要だと思えます。

県の防災政策の充実をめざして



総務県民委員会で防災対策を学ぶ

7月21日総務県民委員会では、愛知県消防学校を視察しました。(写真上)同校は昭和39年に建設され老朽化が進み、改修が必要と思われます。当日は猛暑の中、訓練に励んでいました。グラウンドでは隊列を組んでの行進。体育館では救命救急の訓練(写真左下)をしていました。各市町村の消防職員や消防団員が入校し、長期の訓練を受けます。真剣な姿勢に感銘を受けました。

また、同日出光興産愛知製油所を視察し、自衛防災体制や大容量泡放水システムの配備状況を見せていただきました。(写真右下)石油製油所では石災法の規定により、大型化学高所放水車や、泡原液搬送車、大型化学消防車などの特殊車両を配備し、見事に訓練された職員の自衛防災体制を目の当たりにしました。備えは万全だと思いました。